

## 「文化と芸術による地域振興の助成」と「瀬戸内海文化研究・活動支援助成」の

### 今秋の公募は休止いたします

昨年は〈瀬戸内国際芸術祭 2016〉を芸術祭実行委員会、瀬戸内こえびネットワーク、地域の皆さまと共に開催し、好評のうちに終わることが出来ました。芸術祭を3回経験するなかで島々にも変化が起こっています。男木島には39人が移り住み、小中学校と保育所が再開しました。人口約3万の小豆島では2010年以降1,400人もの方が島外から移住しています。アーティストと地域の人、移住してきた人が交流し、化学変化が起き始めています。島の人たちが元気になっていく姿を目の当たりにすると、私たちの活動の本当の目的は、コミュニティを再生していくことではないかと、ますます確信を強めています。今後は「訪れて佳し」だけでなく「住んで佳し」の瀬戸内となるよう、財団としてもより一層地域振興に取り組んで参りたいと考えております。

さて、当財団の「文化と芸術による地域振興の助成」は開始から10年、「瀬戸内海文化研究・活動支援助成」[A.調査・研究助成][B.活動助成]は12年が経過し、先に述べたような芸術祭による地域の変化、時代の変化に助成事業をどう対応・発展させていくか、ここ数年、選考会や理事会の席で議論して参りました。財団内でも検討を重ね、事業改革を行うため、今秋の公募・選考を1回休止することを理事会での承認を経て決定いたしました。

今後は事業内容の検討を行い、2018年秋の公募から再スタートを切りたいと考えております。これらの事情をご理解いただき、今後とも当財団の事業に関心をお寄せいただけますと幸いです。どうかよろしくお願い申し上げます。

2017年6月  
公益財団法人 福武財団  
理事長 福武総一郎

(注)「瀬戸内海文化研究・活動支援助成」の[C.犬島パフォーミングアーツ助成]は例年通り公募いたします。